

1/21(火)の報道発表

報道発表資料の配付日時 令和7年1月21日(火) 10時00分

発表項目	札幌医科大学附属病院「渡航・ワクチン外来」において ダニ媒介性脳炎予防のためのワクチン接種を令和7年1月から開始
概要	<p>【発表内容】</p> <p>ダニ媒介性脳炎ワクチンは、今まで輸入ワクチンでしたが、2024年に国内初の承認ワクチンが発売され、当外来でも導入したところでは、</p> <p>渡航者だけでなく、マダニに咬まれるリスクのある方にも接種をいたします。</p> <p>また、同一ワクチンを接種希望する方が5名以上いる場合は、当外来に連絡をいただければ、調整の上、外来日以外でも対応いたします。</p> <p>○外来日：毎週木曜日 14:00~16:30</p> <p>○予約方法：受診するためには、インターネットでの予約が必要です。(初診予約5名) ※受診希望日の4日前まで登録が必要</p> <p>https://web.sapmed.ac.jp/hospital/guide/vull910000000ed2.html</p> <p>※同一ワクチンを接種希望する方が5人以上いる場合は、外来日以外でも調整の上対応</p> <p>○ワクチン：3回接種が必要で、抗体を維持するためにはその後5年ごとに1回追加接種必要</p> <p>【参考】※厚生労働省及び厚生労働省検疫所ホームページから</p> <p>○ダニ媒介性脳炎とは</p> <p>ダニ媒介脳炎は中枢神経系に影響するウイルス感染症であり、軽症例から、より重篤で生命を脅かす病態まで、広い範囲での症状を引き起こします。</p> <p>○どうやってうつる</p> <p>主に、ダニ媒介脳炎ウイルスをもつダニに咬まれることによりうつります。</p> <p>○症状</p> <p>4~28日間の症状のない期間があった後、頭痛、筋肉痛、倦怠感や発熱が起こります。そのまま治る場合もありますが、悪化すると、脳に障害が出るようになり、呼吸ができなくなることがあります。重症型の場合には死亡することがあります。</p> <p>○ダニ媒介性脳炎の発生状況について</p> <p>全世界では、ダニ媒介性脳炎が報告されている国は少なくとも37か国以上にのぼり、毎年おおよそ10,000~15,000例の感染例があると推計されています。</p> <p>日本では、2024年8月までに北海道で7例報告されています。うち2024年新たに2例の発症が確認されたところでは、</p> <p>○予防</p> <p>草の茂ったマダニの生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボンを着用し、サンダルのような肌を露出するようなものは履かないことなど、マダニに刺されない予防措置を講じる。</p> <p>リスク地域での居住や渡航、ダニの活動が活発な時期の野外活動など、個々の感染リスクに応じてダニ媒介脳炎ワクチンの接種を検討する。など</p>
報道(取材)に当たってのお願い	紙面や各メディア等の媒体でご周知いただければ幸いです。
本件に関する問合せ先	北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院 病院課 担当主査：林 電話：011-611-2111 (内線31230)